

科研費特別研究促進費「令和元年 台風 15 号による停電の長期化に伴う影響と風水害に関する総合調査」による生活支障の実態調査・報告書を作成・刊行しました (2020/04/14)

テーマ：令和元年台風 15 号，ライフライン被害，生活支障  
URL：<http://ares.tu.chiba-u.jp/typhoon15/>

我が国では、突発的に発生した災害に関して、緊急に実施しなければならない極めて重要な研究・調査を科学研究費助成事業によって早期に発足・実施します（通称：突発災害調査）。2019 年 9 月に発生・来襲した令和元年台風 15 号災害に対しても、突発災害調査が「令和元年 台風 15 号による停電の長期化に伴う影響と風水害に関する総合調査」（代表：千葉大学・丸山喜久教授）として発足しました。同調査は、①停電の長期化の原因とその影響波及の解明（ライフライン分野）、②台風 15 号による被害発生の気象学的要因の解明（気象分野）、③建築物・工作物の被害メカニズムの解明および強風リスク評価（風工学分野）、④海岸・港湾施設の被害メカニズムの解明（海岸・港湾分野）、⑤内水被害の実態調査（水工学分野）、⑥航空交通システムへの影響の解明（航空交通分野）からなります。当研究所の佐藤翔輔准教授（人間・社会対応研究部門）は、うちライフライン分野において、ライフライン停止に伴う被災者への様々な生活支障の実態の調査を担当しました。佐藤翔輔准教授は、千葉県内の 2,000 名に対してインターネット調査を実施し、北海道胆振東部地震の実態や個人特性との比較や、代替手段の特性や課題について明らかにしています。

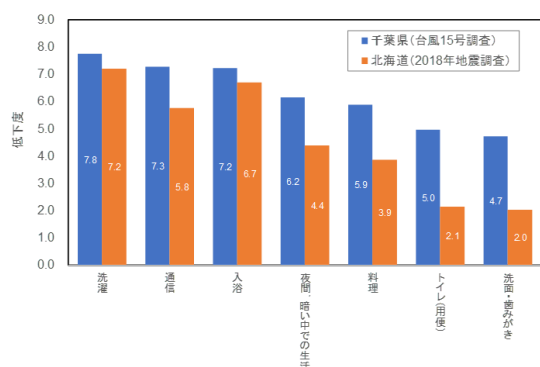
この度、同調査結果がまとまり、その報告書がウェブ上に公開されました。以下からダウンロード・閲覧することができます。ご高覧いただければ幸いです。

令和元年度科学研究費助成事業

「令和元年 台風 15 号による停電の長期化に伴う影響と風水害に関する総合調査」研究報告書  
トップページ：<http://ares.tu.chiba-u.jp/typhoon15/>

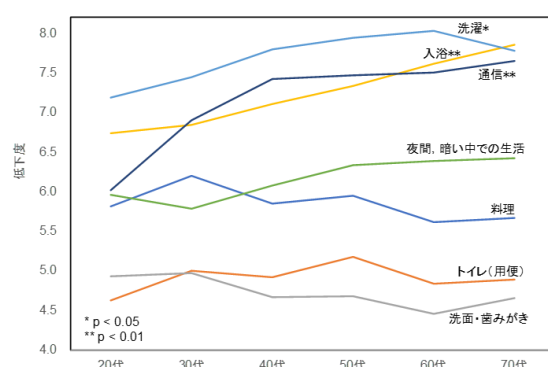
1-6 ライフライン停止による生活支障の実態（PDF 中の p.41）：

<http://ares.tu.chiba-u.jp/typhoon15/pdf/Sec1.pdf>



生活支障の程度

(台風 15 号と北海道胆振東部地震の比較)



生活支障の程度

(年代別比較)